

高館組 現場人インタビュー企画-第1弾-

大変なことは多々あるが、苦労して貰つた「合格」がまた頑張ろうと思わせてくれる。

—土木部内の推薦投票で一位を獲得しました横山 課長にお伺いします。宜しくお願ひします。

横山課長（以下・横山）

よろしくお願ひします。

—まずは現在の業務内容についてお伺いします。

横山 土木現場での施工管理、予算管理、労務管理、それから今は船舶運航管理と港湾関係パトロールですね。細かく上げると多岐に渡るけど、要所はこの辺かな。

—土木とはどんな仕事ですか？

横山 河川、道路、橋、海岸等の工事をしています。生活を便利にしていくための土台作りとなるインフラ整備がメインです。

—人社の決め手をお伺いしたいのですが。
横山 もう30年以上も前だからね（笑）
—当時を思い出しながら、ぜひ。

横山 そうだなあ。当時はバブルで色々な建設会社を見て回ったんだけど、最後は周囲の勧めも

あつて。やつぱり地元上越に根付いた会社だったからかな。

—ありがとうございます。次に、印象的だった仕事を教えてください。

横山 1つに絞るのは難しいね。全部（笑）。でも印象的といえば、入社して最初にやった会社周辺（西本町）の下水道工事はよく覚えてるよ。

それから、まだ挑戦したことのない工種の現場に初めて就く時はワクワクする。河川、海、道路、下水道関係：大手のゼネコンと違つて色んな工事に携われるのは地域総合建設業で働く面白さだと思います。

—働くやりがいは何でしょう。

横山 工法や工事の進め方で発注者とやりとりしたり、現場が天候に左右されたりってホントに大変なことはいっぱいあるけど、竣工後の検査でいい点数もらえるとやっぱり嬉しいね。苦労してもらった「合格」がまた頑張ろうと思わしてくれます。それから、地元の方々から「ありがとうございます」「ごくろうさまです」って、時に厳しいお言葉も頂きました。いろいろ声掛けてもらえることが多くて、さらに頑張ろうって思えます。

プロフィール

横山 彰二 勤続32年

平成元年 新潟県立高田工業高等学校

（現・上越総合技術高等学校）卒業
同年 入社 土木部 配属

平成十七年 全国建設業協会「技術研究発表会」にて特別賞受賞

近年の施工実績

・鵜川左岸幹線 第1・2次工事
・夷浜道路改良工事

趣味

釣り。かつて県外の大会に出場した事も。新人時代には、バイクやスキー等もこよなく嗜んでいたとか。



ものづくりをしたい、外で体を動かすのが大好き、人付き合いが苦にならない。そんな子に向いていると思う。

「この仕事をして誇りに思えることはなんでしょうか。」

横山 自分が現場監督をした道路等をみんなが使ってるのを見たときはね。「世の中の役に立っている」と思って嬉しくなります。

「最後に、建設業界を目指す学生へメッセージをお願いします。」

横山 ものづくりをしたい、外で体を動かすのが大好き、人付き合いが苦にならない。そんな子が向いていると思う。

自分も入社当時は分からぬことが多い、現場に出るたびに職長さんに厳しく叱られた。でも、工事が終わつた後「よく頑張つたな」と声を掛けてしまい、厳しさの中に優しさを感じ嬉しくなつた。学校では教わることのない現場ならではの工夫も沢山教えていただき、自分の経験となつた。入社当初は分からぬことが多い不安だと思う。でもいろいろな経験を重ねてきた熟練の先輩方がいっぱいいるので安心してほしい。

「横山課長ありがとうございました!」

地域の守り手として、益々ご活躍をご期待申し上げます!!!

次回は、建築部の推薦投票でダントツの一位を獲得した種岡係長にお話しをお伺いします。

夷浜道路改良工事



法面には潮風の影響を受けにくい
防草シートを採用



横山課長、取材へのご協力
ありがとうございました!



2020.04.24